

徳家守長光寺與兼領戦

馬敵新水路

秀吉智計棄籠江救柴田

馬勝家破浦



繪本豊臣勲功記之編卷之七

江戸 八功舎徳水剛補

清正智計鎮本村井上争馬西人詰姓

徳孤ならむ必隣をなむと旨あるう於中村の一村小して加

藤福嶋の二英雄を生ること減小天よく秀吉を補佐る

さむる縁故をりし然れど小加藤福島西人を破卒を随(東地

の巷里を急る得かく巡らまらるが一日加藤虎之助長演の城上

を離れ仔細小見巡り行々るに長演成と小谷成との場のとち小

束まる時を不智いなる事ありたるや。寡人態の武士二人は

論せして在らりしが。於て双方太刀合たり。一個の面貌色よく

の杖六尺有餘あり。一個の黒き顔色小く。眼光さながら星流如